

# PC のセキュリティ強化対策

2015年9月26日 河出 修

## [ はじめに ]

- ★本年5月に「年金機構」へのサイバー攻撃によって、個人情報100万件以上が流出し、大問題になりました。さらに、「年金情報流出を口実とした犯罪」が発生し、注意喚起がされています。
- ★最近起こった、上記のような状況に的確に対処し、自分のパソコンの安全を確保する方法について、解説します。

## [ Windows PC のセキュリティ設定 ]

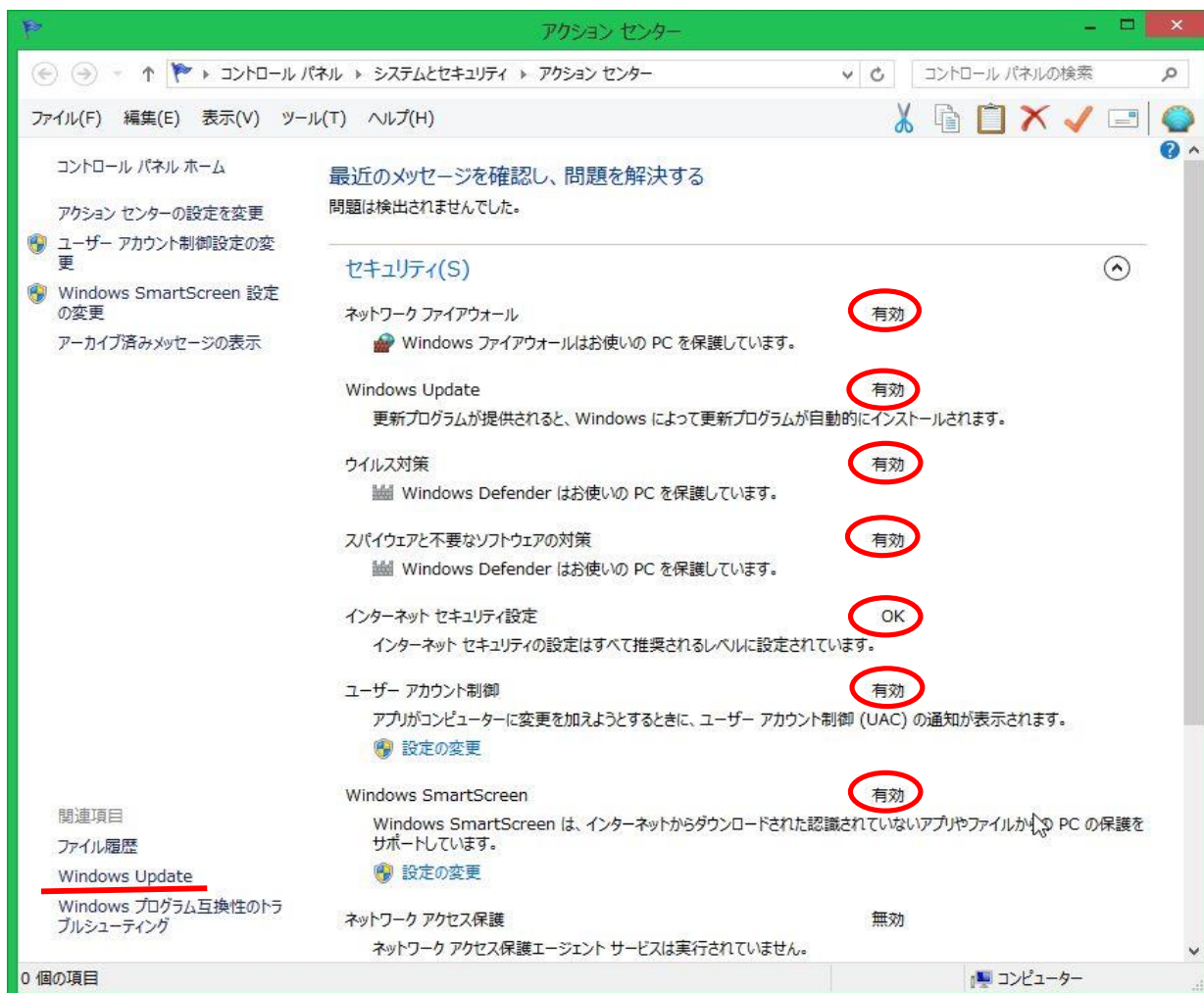
★Windows パソコンのセキュリティの設定や状態確認は、「アクションセンター」で行う。(Windows 7,8/8.1)

### 1. 「アクションセンター」の表示方法

- (1) タスクバーの「アクションセンター」ボタンを押す。 (2) コントロールパネルの「システムとセキュリティ」の「コンピュータの状態を確認」を押す。



★「アクションセンター」が開くと、「セキュリティ(S)」の「下向き矢印」を押すと下図のように展開される。



## 2. 「アクションセンター」の表示項目の説明

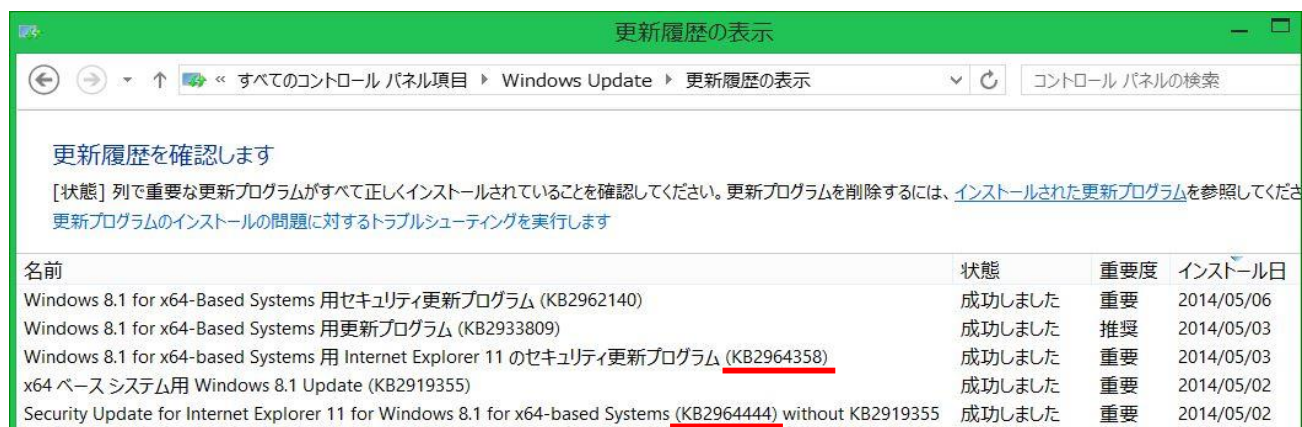
- (1) ネットワーク ファイアウォール (「有効」にする)
  - ・ファイアウォールは、ハッカーまたは悪意のあるソフトウェアがネットワークやインターネットを経由して、コンピュータにアクセスするのを防ぐために役立ちます。
- (2) Windows Update (「有効」にする)
  - ・Windows Update は、使用しているコンピュータ用の更新プログラムを定期的にチェックして、自動的にインストールできます。
- (3) ウイルス対策 (「有効」にする)
  - ・ウイルス対策ソフトウェアが有効で最新かどうかを検出します。
- (4) スパイウェアと不要なソフトウェアの対策 (「有効」にする)
  - ・スパイウェアに対する保護が有効で最新かどうかを検出します。
- (5) インターネットセキュリティ設定 (「OK」にする)
  - ・セキュリティ設定が正常に機能していることを確認します。
- (6) ユーザーアカウント制御 (「有効」にする)
  - ・管理者レベルのアクセス許可を必要とする変更がアプリケーションに対して行われたときに通知します。
- (7) Windows SmartScreen (「有効」にする)
  - ・ダウンロードされたファイルが既知のマルウェアであるか、評価が定まっていないファイルである場合に警告することで、パソコンの保護に役立ちます。
- (8) ネットワークアクセス保護
  - ・主に会社のネットワークで使用します。ネットワークの全体的なセキュリティの保護に役立ちます。

## 3. Windows Update の処理結果の確認

- (1) 「アクションセンター」の左下にある「Windows Update」をクリックする。



- (2) 「更新履歴の表示」をクリックする。



- (3) 「Internet Explorer」の更新プログラムの確認

★2014年5月にあった「Internet Explorer」の脆弱性を改善する更新プログラムの事例です。

- 「Internet Explorer 6～10」→「KB2964358」
- 「Internet Explorer 11」→「KB2964358」 / 「KB2964444」(Windows 8.1)

## 4. 「不正なプログラム」に感染しないための注意事項

- (1) 「アクションセンター」の各種設定項目を、推奨された安全な設定にすること。
- (2) ウイルス対策ソフトは、期限切れのまま放置しないこと。
- (3) 定期的に全ファイルのスキャンを行うこと。
- (4) インターネットの閲覧時は、「怪しげなソフト」はダウンロードやインストールしないこと。
- (5) 「怪しげなメール」は開かないこと。メール本文中のハイパーリンクを安易にクリックしないこと。
- (6) 「怪しげなメール」の添付資料は絶対に開かないこと。

## [ Micro Soft 社の無料ウイルス対策ソフトの紹介 ]

### 1. Microsoft 社のウイルス対策ソフト

- Windows Vista/7 用としては、「Microsoft Security Essentials」がある。
- Windows 8/8.1/10 用としては「Windows Defender」がある。
- 「Windows Defender」はプリインストールされている。

### 2. 「Microsoft Security Essentials」のインストール

- 下記サイトより、「Microsoft Security Essentials」をダウンロードすると、「MSEInstall.exe」が作成される。

<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows/security-essentials-download>

- 「MSEInstall.exe」を実行すると、「Microsoft Security Essentials」がインストールされる。

★ウイルス対策ソフトのバージョンアップ、ウイルス定義ファイルの更新は「Windows Update」を通じて自動的に行われる。

### 3. ウイルス対策ソフトの制御画面



「Microsoft Security Essentials」

「ホーム」タブ

- ・リアルタイム保護の状況表示
- ・定義ファイルの内容表示
- ・スキャンの指示

「更新」タブ

- ・定義ファイルの更新指示

「履歴」タブ

- ・検疫された項目の表示
- ・検疫された項目の処理方法指示

「設定」タブ

- ・スキャンのスケジュール設定
- ・その他各種設定



「Windows Defender」

「ホーム」タブ

- ・リアルタイム保護の状況表示
- ・定義ファイルの内容表示
- ・スキャンの指示

「更新」タブ

- ・定義ファイルの更新指示

「履歴」タブ

- ・検疫された項目の表示
- ・検疫された項目の処理方法指示

「設定」タブ

- ・スキャンのスケジュール設定
- ・その他各種設定

★「無料のウイルス対策ソフト」のウイルス検出率はやや低いと言われています。  
実用上は問題ないと思いますが、心配な方はウイルスバスター等の有料ソフトを使用してください。